



令和8年5月14日

各 位

会 社 名 アプライド株式会社
代表者名 代表取締役 岡 義治
(コード番号 3020)
問合わせ先 取 締 役 山口 圭介
電話 092-481-7801

令和8年3月期 通期連結業績予想と実績との差異及び
個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

令7年11月14日に発表いたしました令和8年3月期の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 令和8年3月期連結業績予想と実績との差異（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (令和7年11月14日)	百万円 47,500	百万円 2,900	百万円 2,900	百万円 1,950	円 銭 721.45
当期実績(B)	48,010	3,431	3,470	2,268	839.43
増減額(B)－(A)	510	531	570	318	
増減率(%)	1.1	18.3	19.7	16.4	
(ご参考) 前期実績	47,288	2,667	2,689	1,767	654.08

2. 差異の理由

連結売上高については、IT事業におけるコンピューターおよび付帯サービスの販売が想定の水
準より高くなったことにより、計画値比で1.1%増加しました。売上高の増加に伴う利益増等によ
り、営業利益については前回発表予想を18.3%、経常利益については19.7%上回ることとなりまし
た。

3. 令和8年3月期の個別業績と前期実績値との差異（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	46,369	2,549	1,663	615.44
当期実績(B)	47,193	3,354	2,204	815.46
増減額(B)－(A)	823	805	540	
増減率(%)	1.8	31.6	32.5	

4. 差異の理由

Windows10サポート終了に伴うパソコンの入れ替え需要と、省力化等のデジタルシフトを背景とした企業のAI投資に対応すべく、高機能群のラインナップの拡充、生産能力の増強を行った結果、高機能製品の導入が堅調に推移したことにより、売上高については前期を1.8%上回りました。また損益面におきましても、自社製品販売比率の向上により、経常利益は前期を31.6%上回る事となりました。

以 上